

「沿線火災」について申し入れ!

1月22日、4時30分頃、京都・新大阪間で沿線火災が発生しました。その影響で東海道新幹線は上下線計16本が運休または部分運休、計91本が最大で約3時間遅れるなどの大幅な輸送障害が発生しました。マスコミ報道によると、火災は新幹線高架下の耐震工事付近から発生し、隣接する建物の壁も焼いたとなっています。

会社は、原因について調査中としていましたが今だにその原因、詳細を明らかにしていません。さらに報道によると工事を請け負った業者が前日の17時で作業を終え、その後の人の出入りはなかった、現場の入り口は鎖錠されていたということです。1月28日、地本は安全・安定輸送の観点から、原因の究明と再発防止対策を早急に構築するために以下の申し入れをしました。

記

1. 今回の「沿線火災」が発生した時間、場所、被害状況など全て明らかにすること。
2. 今回の「沿線火災」の原因を明らかにすること。
3. 今回の「沿線火災」による輸送障害の詳細を明らかにすること。
4. 火災発生時の第一発見者はJR東海の社員であったとのことであるが、その時の状況を明らかにすること。
5. 火災前日の現場は請け負った業者が17時で作業を終え、その後の人の出入りはなかったとのことである。さらに現場の入り口は鎖錠されていたという。調査した結果の火災の原因を明らかにすること。
6. 現場付近の住民によると、発生当時は「『ボン』」という爆発音がして外を見ると1メートル以上のオレンジ色の火の手があがっていたのを見たということであるが、爆発の原因は何か明らかにすること。
7. 詳細は調査中としながら、今日に至っても職場や利用者にも何らコメントも出していない。調査結果を出さない理由は何か明らかにすること。
8. 今回の「火災」の再発防止対策について明らかにすること。
9. このような重大な火災・事故が発生した際は、速やかに現場の社員と労働組合に説明すること。

会社は早急に社員、利用者に原因究明、再発防止対策を明らかにするべきです!

